

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和2年1月14日

協議会名:	石狩市地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>石狩市は札幌市の北側に位置し、南北に長く日本海に面している。面積は721.86km²、人口は約58,000人である。</p> <p>石狩市浜益区内を運行する公共交通の利用者は、区内の人口減少などにより、減少の一途を辿っている。中でも北海道中央バス札幌浜益線は、浜益区の区間が不採算路線となり、平成28年3月31日に廃止となった。</p> <p>また、石狩市全体の高齢化率は33.5%（令和元年10月時点）であるのに対し、浜益区の高齢化率は57.4%（令和元年10月時点）と浜益区の高齢化が著しいことから、高齢社会における地域住民の生活交通の確保が重要である。</p> <p>このようなことから、事業採算性を意識しながら高齢者等交通弱者の「生活の足」を確保するための、利便性が高く、将来にわたって持続可能な公共交通体系を構築する必要がある。</p> <p>そのため、石狩市浜益区における高齢社会や住民ニーズに即し、かつバス交通に関する財政負担の軽減のため、浜益区内全域を網羅するとともに、幹線バス（北海道中央バス・沿岸バス）との接続を目的とした、持続可能なバス交通体系を導入し、区民の生活利便性の向上を図ることを目的とする。</p>